

Hi-Fi 業務用ビデオ

品番 AG-5200-

取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、わからないとき再読してください。

VHS



保証書別添

保証書は必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて、販売店よりお受取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

このビデオはVHS方式ビデオです。VHSマークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。

著作権(録画テープの取扱い)

あなたがビデオで録画したテープは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。

上手に使って上手に節電

ご使用後は、忘れずに電源スイッチを切ってください。

このたびは
 パナソニックカセットビデオ
 AG-5200を
 お求めいただきまして
 まことにありがとうございました。

- HQマークのついたビデオにはVHS高画質技術が採用されています。
- HQマークのついたビデオで録画されたテープを本機で再生しますと高品位の画質が得られます。なお従来方式のVHSビデオとは互換性があります。
- 大切な録画(結婚式など)の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- ビデオカメラ、ビデオおよびテープの使用上、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。

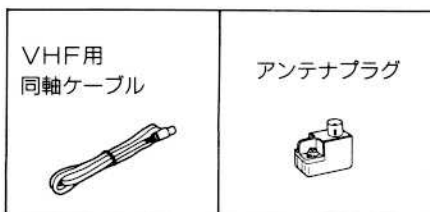
目次

特長	3
システム概要	3
各部の名称	4
一般テレビとの接続	6
モニターテレビとの接続	7
録画	8
RFチャンネルについて	9
再生	9
自動再生	10
V-LOCK調整/画質調整	10
カウンタ部	11
リピート再生	12

シリーズ再生	13
ダビング	14
音声のアフレコ	15
シリアルリモートコントロール	16
リモートコントローラ	17
タイマー録画/再生	17
露付表示 “d”	18
ヘッドクリーニングについて	18
使用上および保管上のご注意	18
故障かな!?と思われましたら	19
アフターサービスについて	20
定格	裏表紙

付属品

標準付属品



別売品

- リモートコントローラ、AG-A11



- ビデオカセットテープ

特 長

VHSモードの記録・再生

2、6時間(VHSの標準モードと3倍モード)の記録、再生ができます。

Hi-Fi音声

小型、コンパクトで持ち運びに便利

リピート再生

次の要領で録画済テープのリピート再生が行なえます。

- テープ始端からテープ終端の間
- テープ始端から映像信号の終端の間*

※映像信号の終端がなければ、自動的にテープの始端と終端の間の再生になります。

早送り再生/巻戻し再生

再生中に早送りボタンまたは巻戻しボタンを押している間、通常再生の5倍のスピード(標準モード)、9倍のスピード(3倍モード)で再生します。

電源が「切」の場合でもカセットテープの出し入れ可能。

オートパワーON

カセットテープを入れると電源が自動的に「入」になります。

鮮明な静止画像

4ヘッド搭載で、鮮明な静止画再生が見れます。

一般テレビとの接続が可能

RFコンバータを内蔵していますので一般テレビと接続することができます。

音声のアフレコ

録画したテープに後から音声のみ録音できます(ただしノーマル音声のみ)。

外部タイマー録画・再生

外部タイマーを使えばタイマー録画または再生ができます。

自動再生/自動テープ取出し

本機にカセットテープを入れると、自動的に再生が始まります。停止ボタンを押すとテープは始端へ自動的に巻戻り、始端でテープは外に出てきます。

シリーズ再生

2台のVTR間でリピート再生ができます。

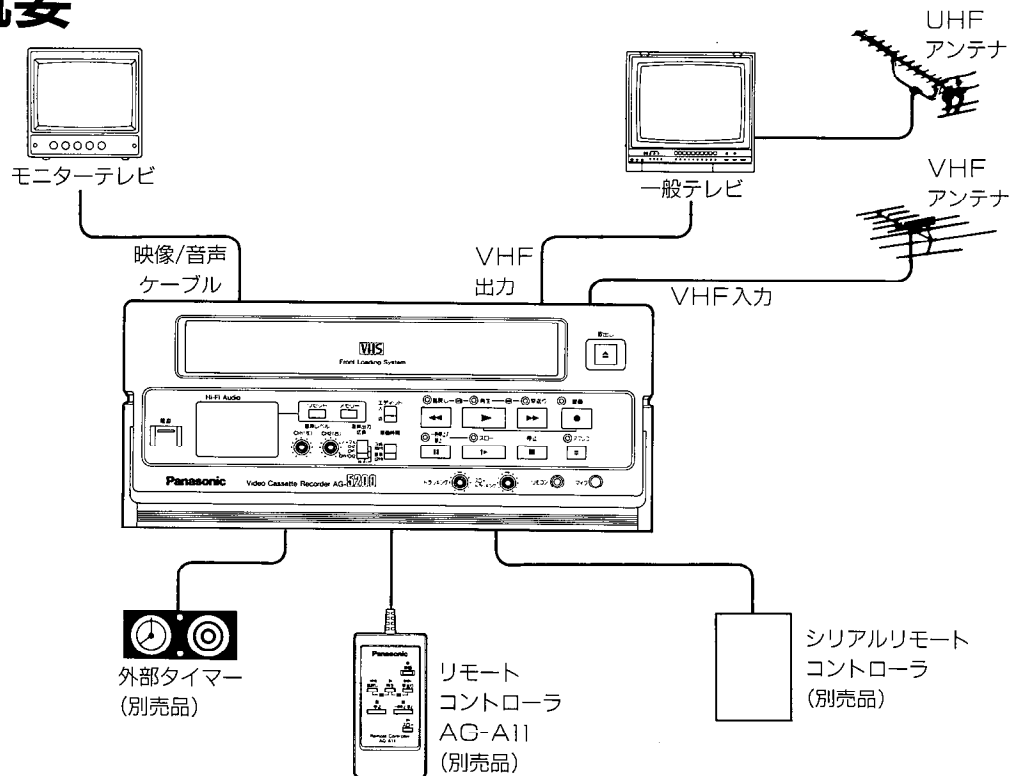
リモートコントロール

リモートコントローラAG-A11(別売品)を接続すると約5m離れたところから本機を操作することができます。

シリアルリモートコントロール

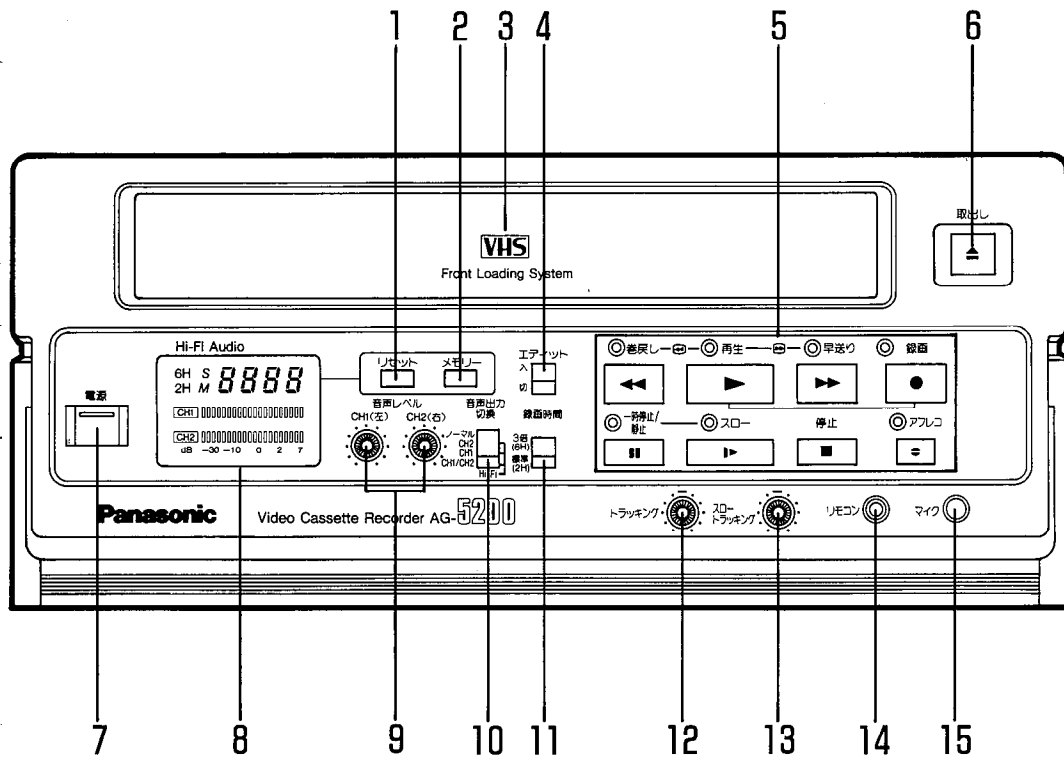
本機にシリアルリモートコントローラを接続しますと録画、再生などの操作ができます。

システム概要



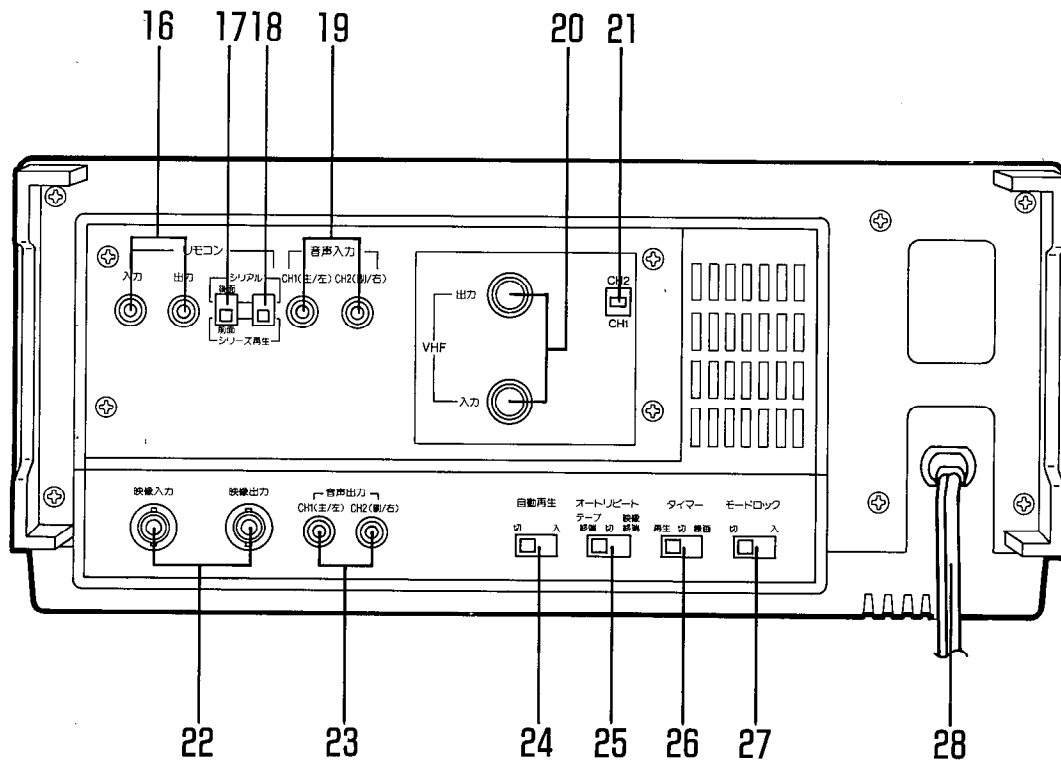
各部の名称

前面



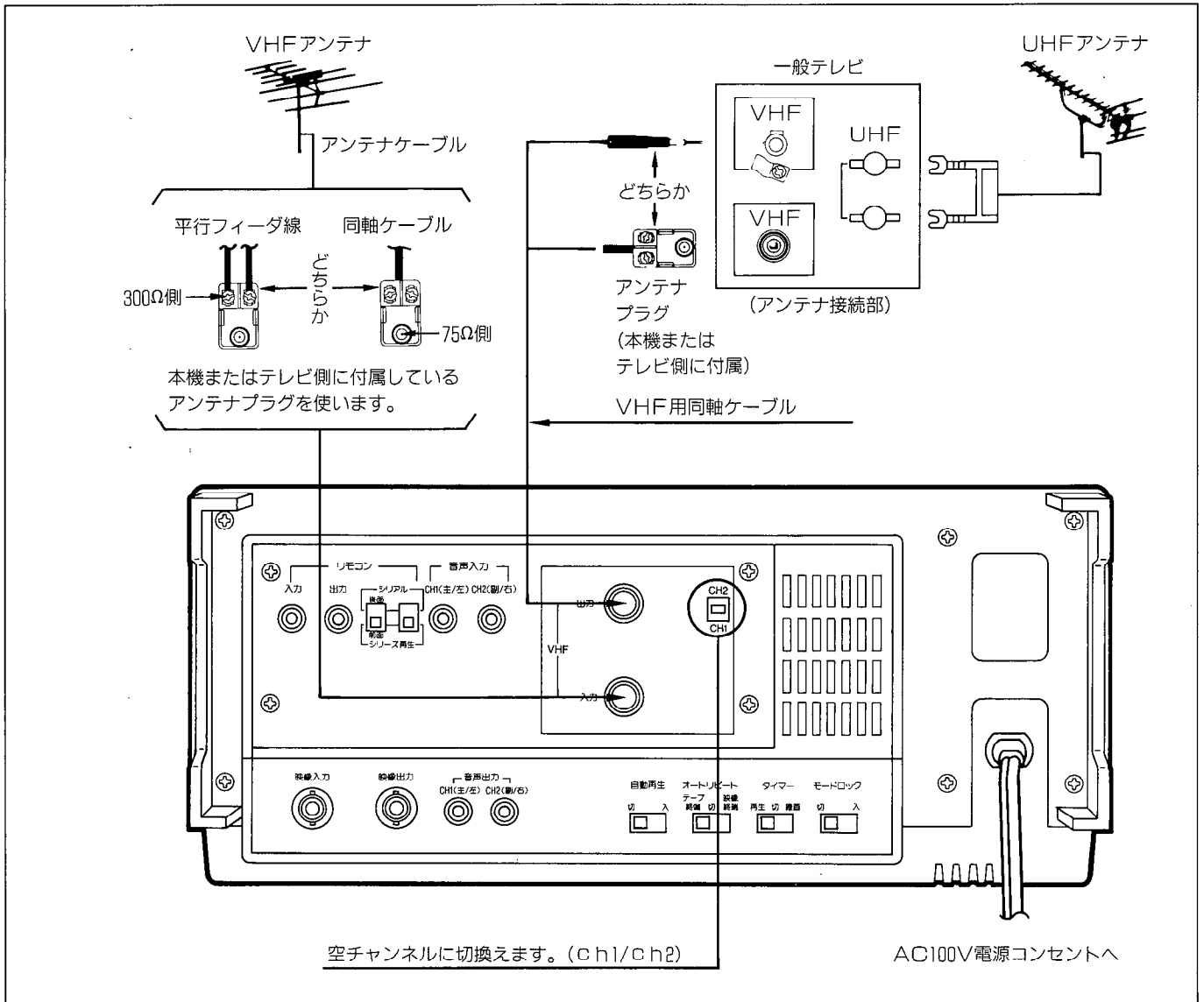
番号	名称	ページ	番号	名称	ページ
1	リセットボタン	11	9	Hi-Fi音声レベルコントロールツマミ	8~9
2	メモリーボタン	11	10	音声モニタ出力切替スイッチ	8~9
3	カセットテープ挿入口	—	11	テープスピード切替スイッチ	8
4	エディットスイッチ	14	12	トラッキングコントロールツマミ	9
5	操作ボタン 巻戻し、再生、早送り、録画、一時停止/静止 スローモーション再生、停止、アフレコ	8~15	13	スロートラッキングコントロールツマミ	9~10
6	取出しボタン	—	14	リモコン端子(M2)	17
7	電源スイッチ	—	15	マイクロホン端子(M3)	8, 15
8	カウンタ/音声レベルメータ	8~9			

後面



番号	名称	ページ	番号	名称	ページ
16	リモート入出力端子(ピンジャック)	13, 16	23	音声CH1/CH2出力端子(ピンジャック)	7
17	リモート前面/後面切換スイッチ	13, 16	24	自動再生スイッチ	10
18	シリーズ再生/シリアル切換スイッチ	13, 16	25	オートリピートスイッチ	12
19	音声CH1/CH2入力端子(ピンジャック)	7, 8, 15	26	タイマースイッチ	17
20	VHFアンテナ入出力端子	6	27	モードロックスイッチ	8
21	RFコンバータチャンネルスイッチ	9	28	電源コード	—
22	ビデオ入出力端子(BNC)	7			

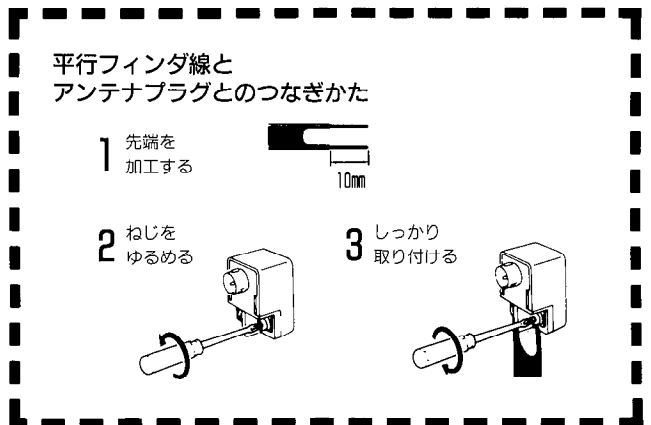
一般テレビとの接続



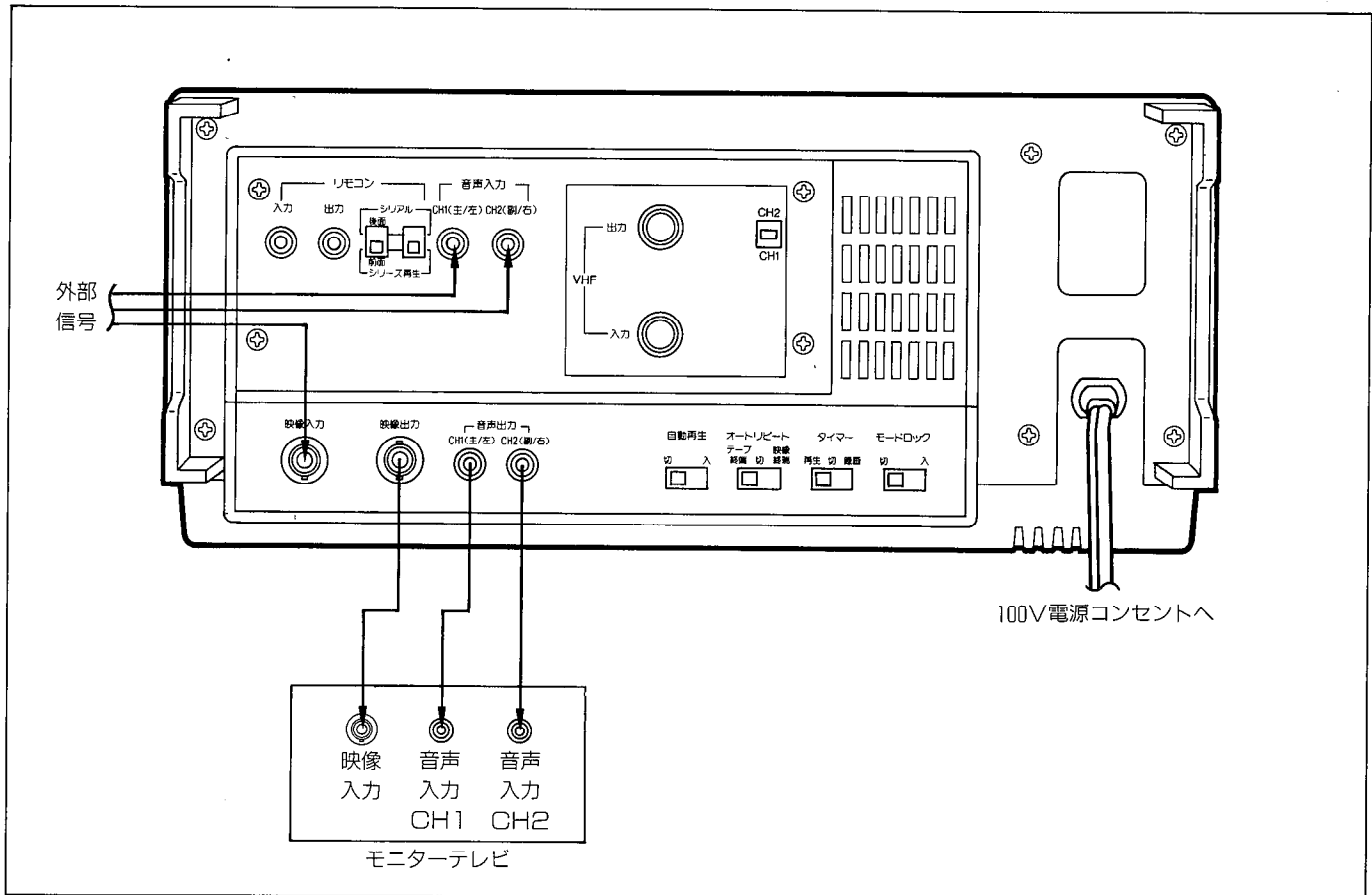
- VHFアンテナ線に75Ωのアンテナプラグが付いているときは、そのままVTRのVHF入力端子に接続してください。
- VHFアンテナ線が同軸ケーブルで、75Ωのアンテナプラグが付いていないときは、アンテナプラグを取付けて、VTRのVHF入力端子に接続してください。(7ページ参照)
- テレビのVHF入力端子によってはアンテナプラグを取付けて接続してください。(7ページ参照)

ご注意
VHF入力端子からの映像信号は録画できませんのでご注意ください。

- VHFアンテナ線が平行フィーダ線の場合は、アンテナプラグの300Ω側にフィーダ線を取付け、VTRのVHF入力端子に接続してください。

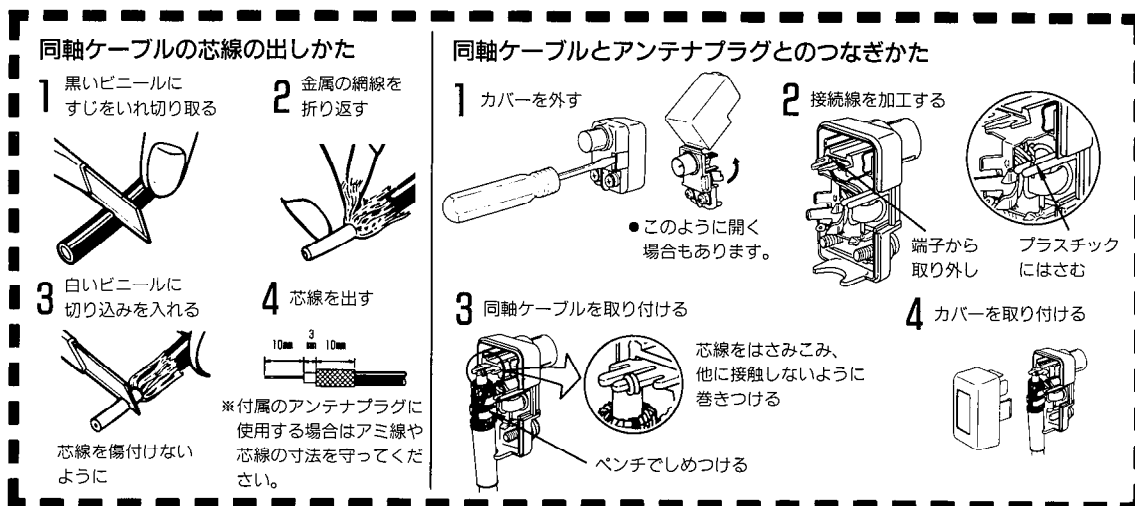


モニターテレビとの接続



一般テレビとの接続

アンテナプラグと同軸ケーブルのつなぎかたは下の図を参考にしてください。



録画

音声入力	チャンネル	
	Hi-Fi	ノーマル
CH1	CH1 *1	CH1
CH2	CH2 *2	CH2
CH1とCH2	CH1とCH2のステレオ	CH1とCH2のミックス

音声は左表のように記録されます。
 *1: CH1の音声が1と2の両チャンネルに記録されます。
 *2: CH2の音声がチャンネル2のみに記録されます。

マイクrohホン
 (Hi-Fi 音声とノーマル音声中に記録されます。)

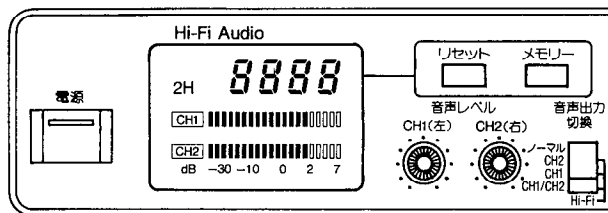
ご注意
 音声入力とマイクrohホンを同時に録音しますとマイクrohホン優先になります。

準備

- ・タイマースイッチ、エディットスイッチとメモリーボタンを「切」側にします。
- ・カセットテープを挿入します。
 (カセットテープのツメがついていることを確認してください。)

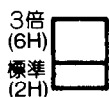
音声レベルの調整(Hi-Fi音声のみ)

音声のレベル調整はHi-Fi音声のみ行なえます。音声のレベルメータが2付近(2を越えない)に振れるようにHi-Fi音声レベルコントロールツマミで調整します。



テープスピードの選択

テープスピード切換スイッチで希望するテープスピードを選択します。



標準 : NV-T120テープで約120分の録画可能(2H)

3倍 : NV-T120テープで約360分の録画可能(6H)

録画

録画と再生ボタンを同時に押しと録画が始まります。

カセットテープにツメがついていない場合は外に出てきます。ツメのついたカセットテープをご使用ください。

一時停止ボタンを使用するときは以下のようにします。

- 1 再生中に録画する箇所を見つけ、一時停止ボタンを押します
 一時停止ランプが点灯し、VTRは再生の一時停止になります。
- 2 録画ボタンと再生ボタンを同時に押します。
 録画ランプが点灯し、VTRは録画の一時停止になります。
- 3 再度一時停止ボタンを押すとVTRは一時停止を解除し、録画が始まります。

録画を止めるときは

停止ボタンを押します。

モードロックスイッチ

動作中のVTRの操作から他の操作への移行を禁止するスイッチです。

モードロックスイッチを「入」にしますと、電源スイッチと操作ボタンは動作しません。

- ・別売りのリモートコントローラAG-A11を使用してコントローラ側から操作する場合は、モードロックスイッチを「切」側にしてください。

RFチャンネルについて

RFコンバータは、テープに記録した映像と音声の各信号を一般テレビで受信できるように標準信号にするためのものです。

本機はRFコンバータを内蔵しており、一般テレビで再生画像をみることができます。

テレビ側のチャンネルは、空チャンネル(1または2)を使用します。

再生を始める前に次のことを確かめてください。

- ① 接続は正しいですか?(→ 6 ページ)
- ② 後面のRFチャンネル切換スイッチは空チャンネル(1または2)になっていますか?
- ③ 接続機器の電源を入れてください。
- ④ 録画済テープを入れてください。
- ⑤ テレビのチャンネルをビデオ専用チャンネル(1または2)にしてください。
- ⑥ 再生ボタンを押して再生を始めてください。きれいに映らない場合はテレビ側の調整を行なってください。

再生

準備

- 本機の次のスイッチを切にします。
 - ※自動再生スイッチ
 - ※モードロックスイッチ
 - ※オートリピートスイッチ
 - ※タイマースイッチ
- 接続機器の電源を入れます。
- 録画済テープを入れます。

音声モニタ出力切換

音声モニタ出力切換スイッチを希望する音声側に切換えます。VHF出力、音声出力の各端子から出力される音声は切換わります。



テープスピード

テープスピードは自動的に記録されたスピードになりますのでテープスピード切換えの必要はありません。

再生

再生ボタンを押します。再生中はランプが点灯します。再生中にノイズが出るときは、前面パネルのトラッキングコントロールを使って正常な画面になるように調整します。再生が終了とトラッキングコントロールを中央(→)に戻します。



スローモーション再生

再生中にスローボタンを押します。再生ボタンを押すと通常の再生になります。

- スローモーション再生中にノイズが出るときはスロートラッキングコントロールでノイズが最も少なくなるように調整します。
- スローモーション再生が約10分以上続くと、本機は停止状態になります。

早送り/巻戻し

停止している時に早送りボタンまたは巻戻しボタンを押します。

早送り再生/巻戻し再生

再生やスローモーション再生、または静止画再生中に早送りボタンまたは巻戻しボタンを押し続けます。押し続けている間、標準モードの場合約5倍、3倍モードの場合約9倍の速度で再生されます。ボタンを離すと以前の状態に戻ります。

メモリーボタンを押してカウンタ部に「S」表示が出ますと、早送りボタンまたは巻戻しボタンを押し続けなくても押すだけで早送り再生または巻戻し再生が楽しめます。約10分以上続くと自動的に以前の状態に戻ります。

- 早送り再生/巻戻し再生の解除の方法は、11ページのサーチロックの項を参照してください。
- 早送り再生、巻戻し再生中に画像が白黒になることがあります。故障ではありません。
- 早送り再生、巻戻し再生中に画像が歪むことがあります。故障ではありません。
- 早送り再生、巻戻し再生中は音は聞こえません。

静止画再生

再生中またはスローモーション再生中に静止ボタンを押します。もう一度静止ボタンを押すと以前の状態に戻ります。

- 静止画再生中にノイズが出るときはスローモーション再生にしてスロートラッキングコントロールを使ってノイズが最小になるように調整してから静止画再生にします。



- 再生中から静止→スローの各ボタン、または再生中からスロー→静止の各ボタンを押したときは、スローモーション再生の静止画再生になっていますので、例えば通常の再生に戻すには静止ボタンを押した後、スローモーション再生にしてから再生ボタンを押してください。
- 静止画再生を約5分以上続けるとテープとビデオヘッドを保護するために本機は自動的に停止になります。
- 静止画再生中に画像が歪むことがあります。故障ではありません。
- 静止画再生中は音は聞こえません。
- 静止画再生中に画像が白黒になったり画像が暗くなる場合があります。故障ではありません。

再生を終了するとき

停止ボタンを押します。

標準モードの録画済テープを再生するときは、VHS規格により互換が保証されておりますが、3倍モードの録画済テープの場合、安定した再生画像が得られないことがあります。

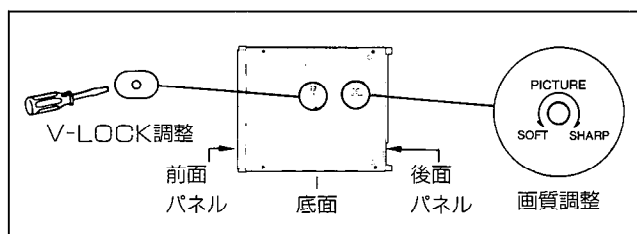
自動再生

準備

- 本機のオートリピートスイッチとタイマースイッチを切にします。
 - ① 自動再生スイッチを「入」側にします。
 - ② 録画済テープを入れます。
- テープ挿入後、自動的に再生が始まります。

再生中に停止ボタンを押したり、テープ終端になると、自動的にテープは始端まで巻戻り、外に出てきます。

V-LOCK調整/画質調整

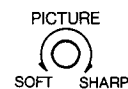


● V-LOCK調整

静止画再生中に画像が上下に小さくゆれる場合は底面のV-LOCKをドライバー等で調整してください。通常はさわらないでください。

● 画質調整

ドライバー等で好きな画質に調整してください。

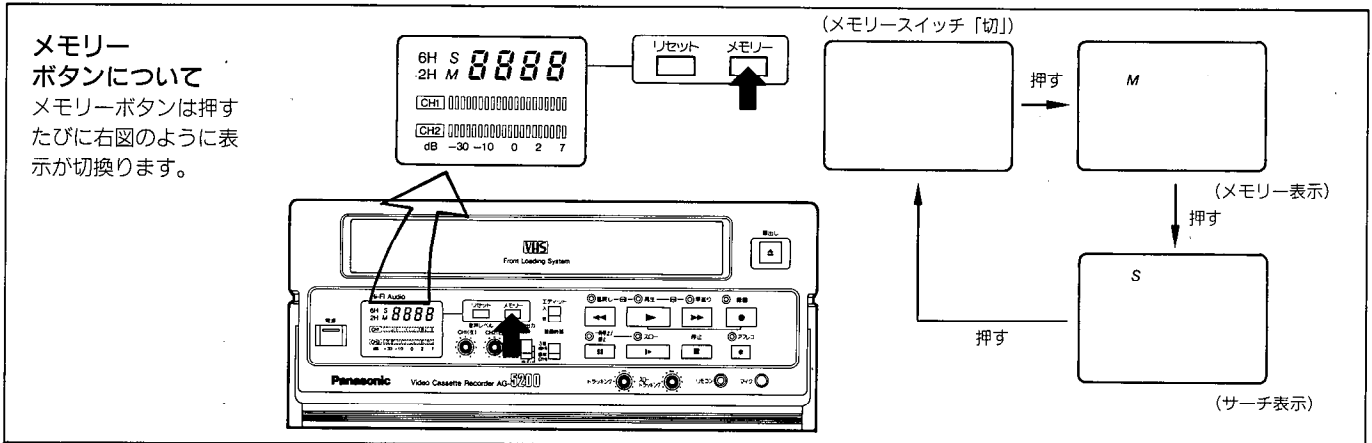


やわらかい画像

はっきりした画像

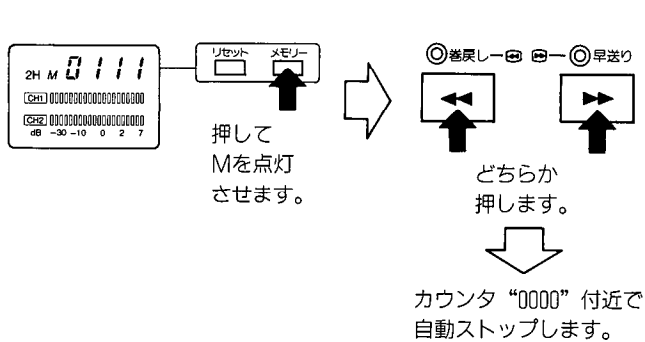


カウンタ部



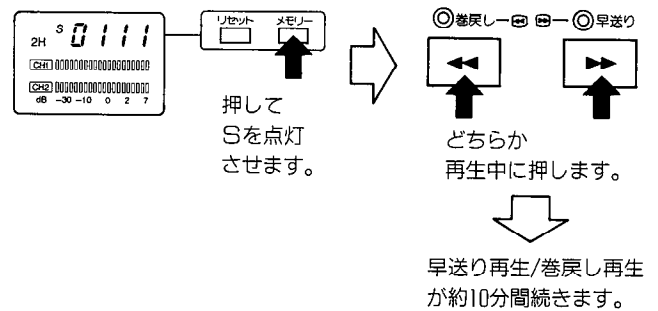
メモリーストップ

メモリーボタンを押してカウンタに“M”表示を点灯させているとき、巻戻しまたは早送りをすると、テープはカウンタ表示“0000”付近で自動的に停止します。



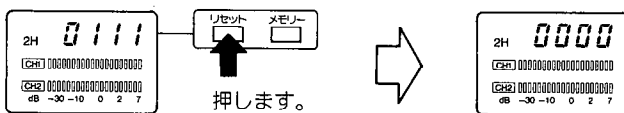
サーチロック

メモリーボタンを押してカウンタに“S”表示を点灯させているときには、巻戻し再生または早送り再生は約10分間継続します。その後、自動的に以前の状態に戻ります。



カウンタリセット

リセットボタンを押すと、カウンタの表示は“0000”になります。



●サーチロックの解除は自動解除のほかには次の3通りの方法があります。

- 再生ボタンを押します。
本機は次の状態(モード)になります。

サーチロック 以前のモード	サーチロック解除 以後のモード
通常の再生	→ 通常の再生
静止画再生	→ 静止画再生
スローモーション再生	→ 通常の再生

- メモリーボタンを押して“S”表示を消します。
本機は以前の状態に戻ります。
- 停止ボタンを押します。
本機は停止します。

リピート再生

・本機の自動再生スイッチを切にします。

テープ始端とテープ終端の間でのリピート再生

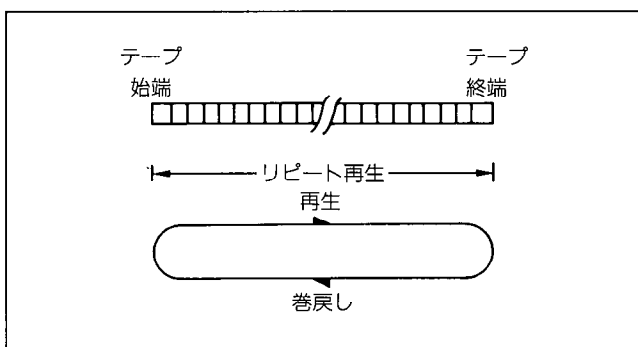
テープの始端と終端の間でリピート再生を行なうときは次の操作をします。

- ① オートリピートスイッチを「テープ終端」にします。
- ② 再生ボタンを押します。



後面

オートリピートスイッチを「テープ終端」にします。

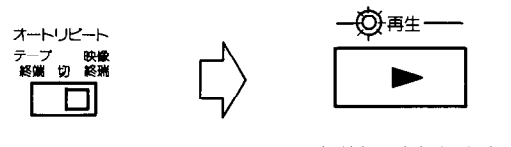


- 自動再生スイッチが入のときは、リピート再生はしません。
- タイマースイッチを「再生」にしておきますと停電等で本機が停止しても通電後自動的にリピート再生が始まります。

テープ始端と映像終端の間でのリピート再生

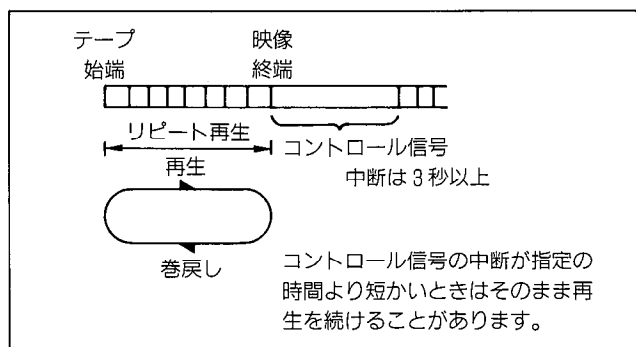
テープの始端と映像信号の終端の間でリピート再生を行なうときは次の操作をします。

- ① オートリピートスイッチを「映像終端」にします。
- ② 再生ボタンを押します。



後面

オートリピートスイッチを「映像終端」にします。



〈ご注意〉

短い区内でのリピート再生をくり返し行ないますと画像が悪くなる場合があります。

リピート再生をご使用になる場合は、下記のパナソニックビデオテープのご使用をおすすめ致します。

- NV-T120GT
- NV-T120HGA
- NV-T90GT
- NV-T90HGA
- NV-T60GT
- NV-T60HGA
- NV-T30GT
- NV-T30HGA

シリーズ再生

図のように接続した2台のビデオの一方が再生を終えると、もう一方のビデオが再生を開始します。ビデオをオートリピートモード(テープ終端/映像終端の選択)*にすることにより交互にリピート再生を行ないます

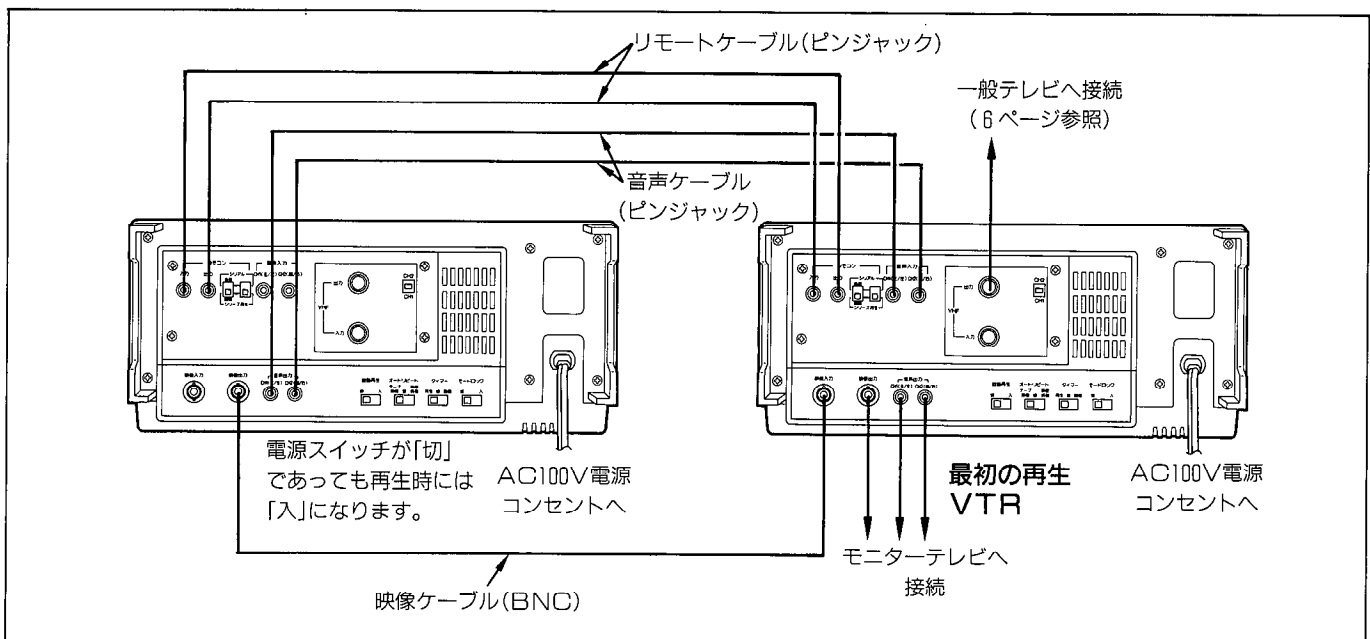
- *1. テープの始端と終端の間でリピート再生を行なうときは、オートリピートスイッチを「テープ終端」に設定します。
- 2. テープの始端と映像信号の終端の間でリピート再生を行なうときは、オートリピートスイッチを「映像終端」に設定します。
- 3. 後に再生するビデオのリモート出力端子にリモートケーブルを接続しない場合は、1回だけのシリーズ再生になります。

操作

- ① 自動再生スイッチとタイマースイッチを「切」側にします。
- ② 前面/後面切換スイッチを「前面」側にします。
- ③ シリーズ再生/シリアル切換スイッチを「シリーズ再生」側にします。
- ④ 録画済のテープを入れます。
- ⑤ それぞれのVTRの再生したい開始点をさがします。
- ⑥ 最初に再生したいVTRの再生ボタンを押します。

再生はリピート再生と同様に行われます。

詳しくは、取扱説明書の12ページを参照してください。



〈ご注意〉

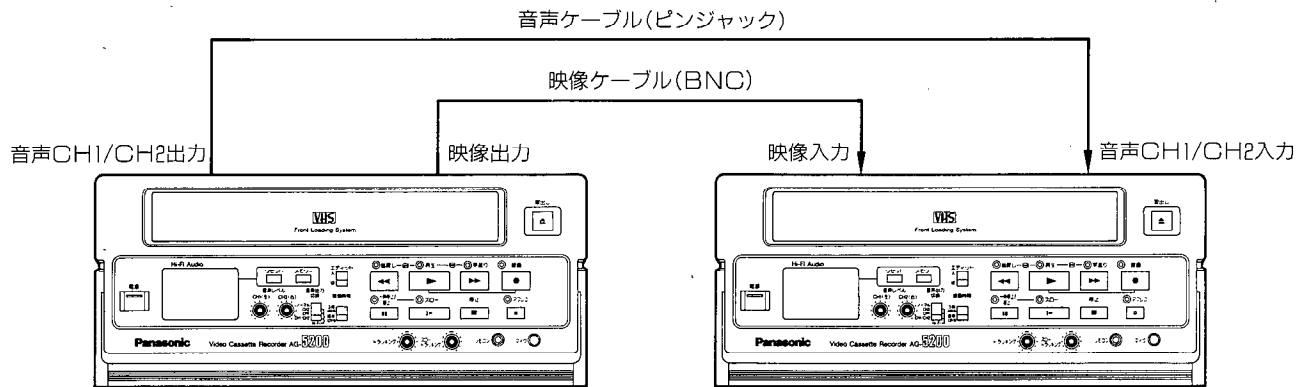
- リモート入出力端子をシリーズ再生/シリアルリモートコントロール以外の目的に使用すると故障の原因となりますのでご使用にならないでください。

シリーズ再生をご使用になる場合は、下記のパナソニックビデオテープのご使用をおすすめ致します。

- NV-T120GT ● NV-T120HGA
- NV-T90GT ● NV-T90HGA
- NV-T60GT ● NV-T60HGA
- NV-T30GT ● NV-T30HGA

ダビング

- ・VTRを2台使用してダビングする場合の接続は次の通りです。



再生側 AG-5200/5100

- ・エディットスイッチ→入
 - ・タイマースイッチ→切
 - ・メモリーボタン→切
- 録画済みテープを入れます。

録画側 AG-5200

- ・エディットスイッチ→入
 - ・タイマースイッチ→切
 - ・メモリーボタン→切
- 未録画テープを入れます。

操作

- ① 再生側VTRの再生ボタンを押して再生を始めます。
- ② ダビングしたい箇所、録画側VTRの録画と再生ボタンを同時に押してダビングを始めます。
- ③ ダビングを止めるときは、まず録画側VTRの停止ボタンを押し、次に再生側VTRの停止ボタンを押します。

●エディットスイッチについて

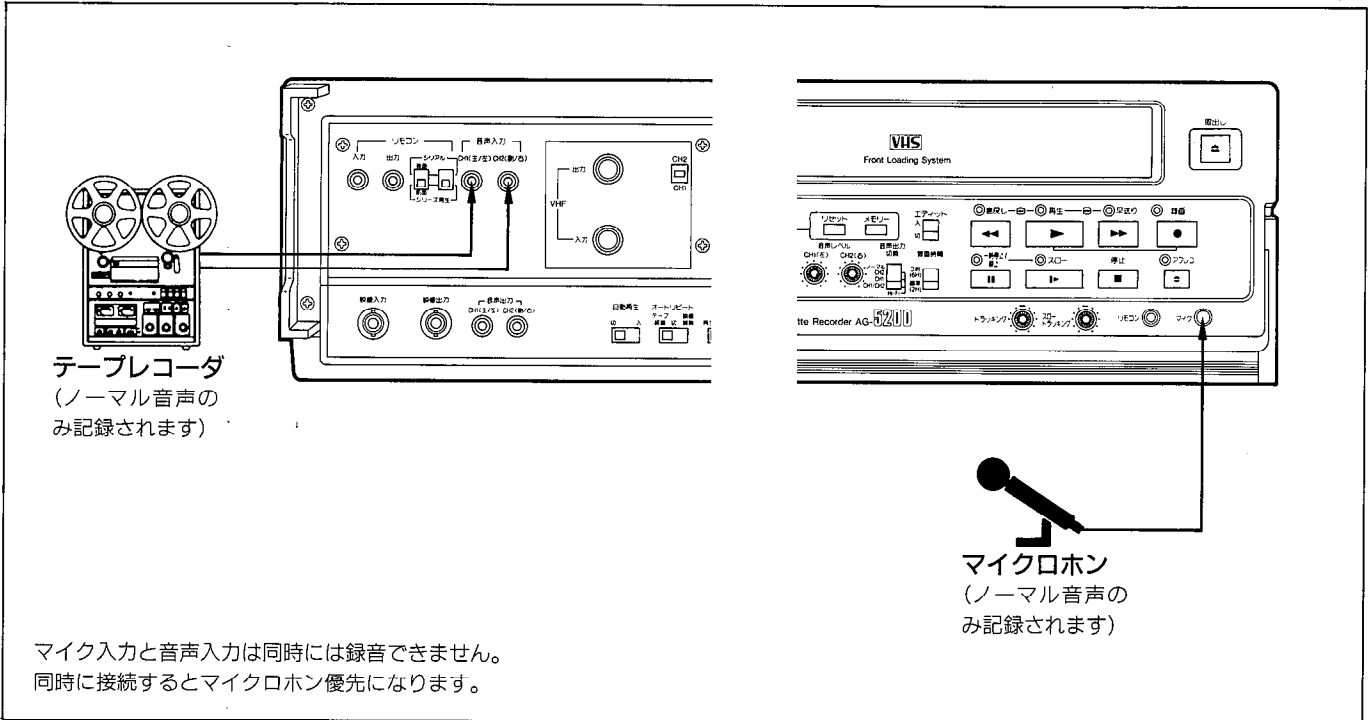
ダビング時、画質の劣化を最小限におさえるためのスイッチです。

ダビング時は「入」側で使用します。

ダビング終了後は必ず「切」側に戻してください。

音声のアフレコ

音声のアフレコは記録済テープに後で音声のみ記録する機能です。音声はノーマル音声トラックに記録されます。(Hi-Fi音声トラックには記録されません)



準備

- ・タイマースイッチとメモリーボタンを「切」側にします。
- ・録画済みカセットテープを挿入します。
(カセットテープのツメがついていることを確認してください。カセットテープにツメがついていない場合はカセットテープが外に出てきます。)

準備操作

- ① 再生ボタンを押して再生を始めます。
- ② アフレコを始める箇所で一時停止/静止ボタンを押してVTRを一時停止/静止状態にします。
- ③ アフレコボタンを押します。
- ④ 一時停止/静止ボタンを押して一時停止状態を解除するとアフレコが始まります。
- ⑤ アフレコを止めるときは停止ボタンを押します。

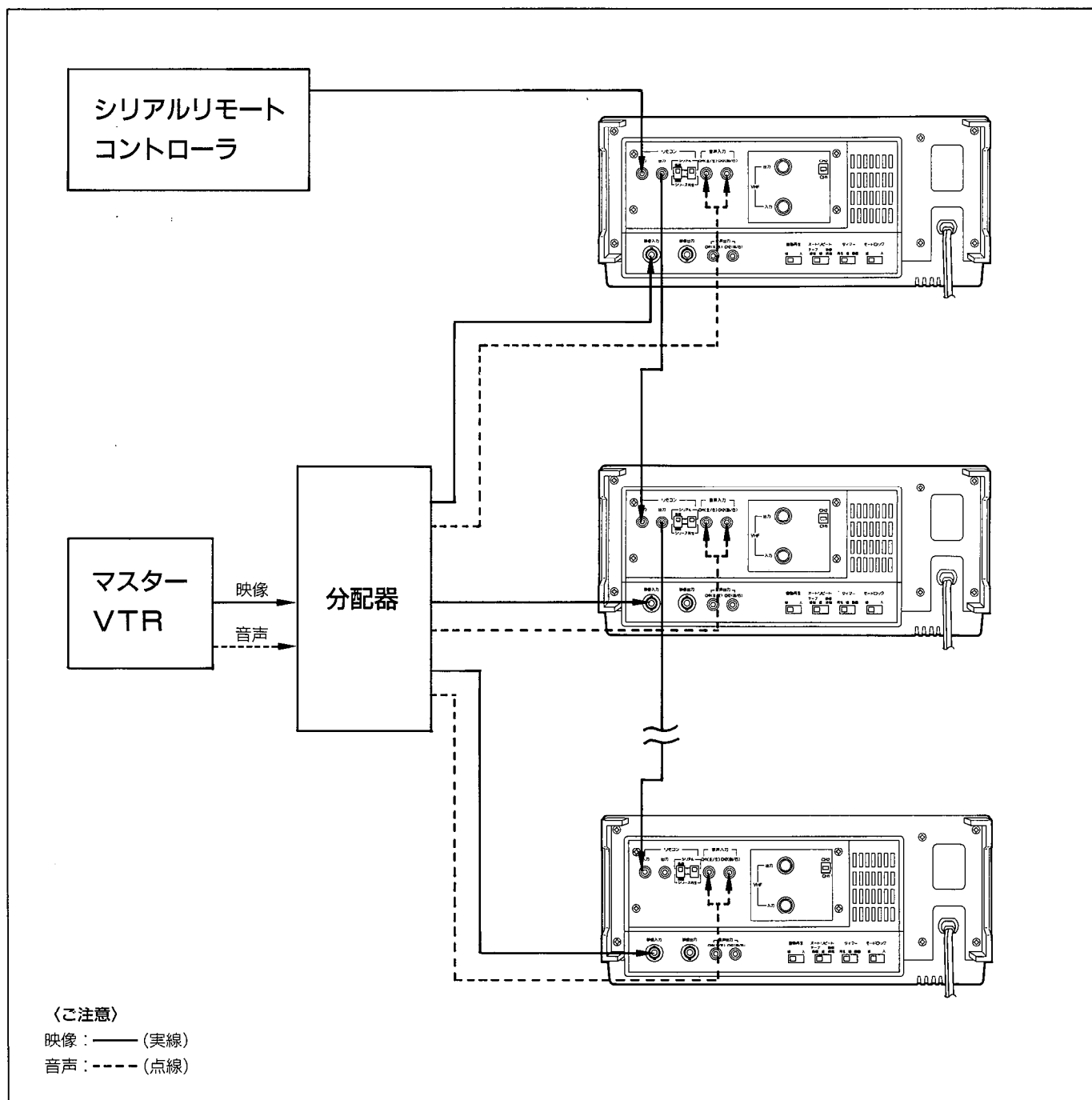
- ・アフレコは、以前に記録されていた音声が消え、新しい音声が変わりに記録されます。
- ・テレビに近づけてアフレコをしますとハウリングノイズが起こることがありますのでご注意ください。
- ・カセットテープに録画用“ツメ”がついていないときはアフレコはできません。

シリアルリモートコントロール

図のように別売りのシリアルリモートコントローラを使用すると録画・再生などのリモートコントロール操作を行うことができます。詳しくは販売店でご相談ください。

操作

- ❶ 自動再生スイッチとタイマースイッチを「切」側にします。
- ❷ 前面/後面切換スイッチを「後面」側にします。
- ❸ シリーズ再生/シリアル切換スイッチを「シリアル」側にします。

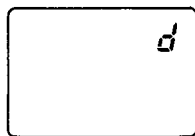


〈ご注意〉

- リモート入出力端子をシリーズ再生/シリアルリモートコントロール以外の目的に使用すると故障の原因となりますのでご使用にならないでください。
- シリアルリモートを使用しているとき、前面の操作ボタンとリモートコントローラAG-A11(別売品)の操作は行なえませんのでご注意ください。

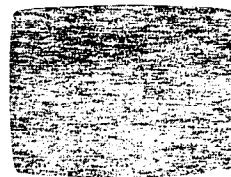
露付表示 “ d ”

露付表示 “d” が点灯すると、本機内部に露が発生したことを示し、取出しボタン以外の操作ボタンを押しても本機は全く動作しなくなります。カセットテープを取出し、電源を入れたままで “d” 表示が消えるまで(2～3時間程度)お待ちください。



d表示が点灯します。

ヘッドクリーニングについて



上のような症状があらわれたときはビデオヘッドがよごれています。別売のクリーニングテープ(NV-TCLA)をご使用になってビデオヘッドを清掃してください。なお、なおらないときには、販売店にご相談ください。

〈ご注意〉

- ヘッドクリーニングを何度も行ないますとビデオヘッドの寿命が短くなりますのでご注意ください。

使用上および保管上のご注意

使用上のご注意

■振動

振動の多い場所での使用は避けてください。

■磁気

磁気を近づけたり、強い磁気を発生する機器の近くでは使用しないでください。

■温度

極端に暑いところ、極端に寒いところ、直射日光の当たるところでの使用は性能を悪くする恐れがありますので、絶対に避けてください。

■湿度

電気製品は、一般に湿気をきらいませぬ。湿気の多い場所、雨が吹き込むような場所は避けてください。

(設置条件)

1. 水平位置でご使用ください。
2. 通風孔をふさがないでください。
本機の通風をよくするために、上面には通風孔が設けられています。壁面から後面は15cm以上、側面は5cm以上離してください。また底面通気孔をじゅうたん等でふさがないでください。
3. 持ち運びされるときは、カセットテープは必ず取りはずしてください。
4. 本機を故障なくお使いいただくために、上面に物をのせないでください。
5. 本機を台上でご使用のときは、堅牢な台をお使いください。
6. できるだけ温度変化の少ない所でご使用ください。急激な温度変化によりテープ走行面に露が付きテープが走行しなくなる場合があります。

■万一、異常が生じましたら

直ちに電源スイッチを「切」にし、電源プラグを持ってコンセントから抜いた後、お求めの購入店にご相談ください。そのままご使用になりますと故障の範囲を大きくしたり、思わぬ事故の原因になる恐れがありますからご注意ください。

■お手入れについて

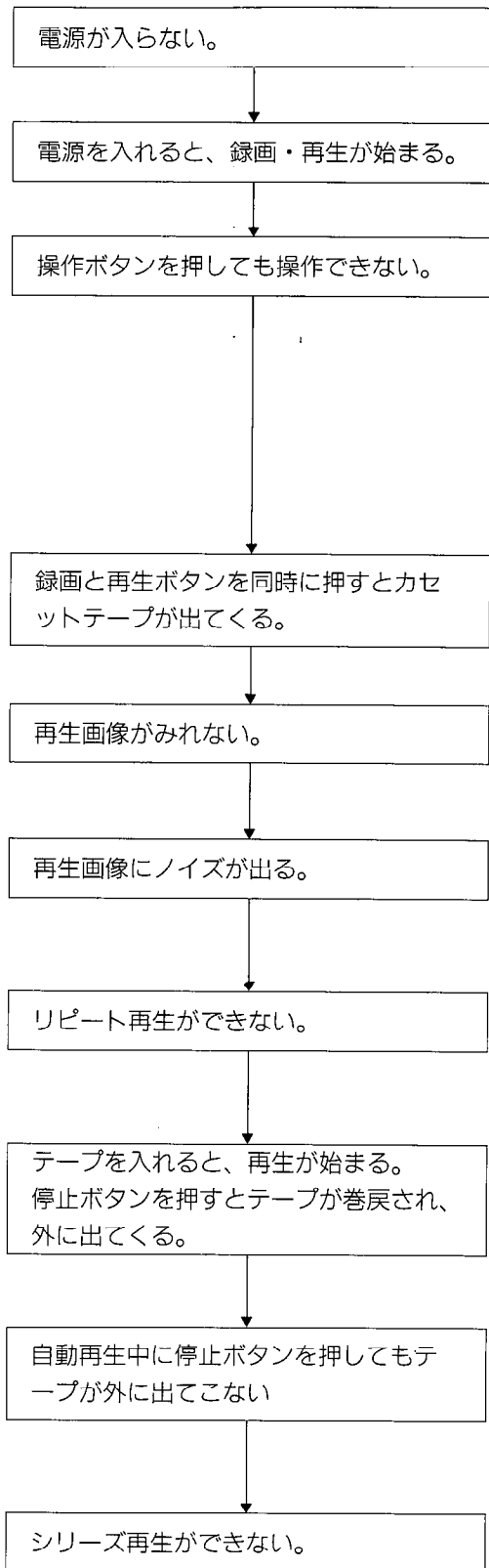
お手入れ前に電源スイッチを「切」にし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。キャビネットの清掃はやわらかい布で行なってください。汚れがひどいときは台所用洗剤を薄め、布に浸して強く絞り、汚れをふきとったのち、乾いた布で仕上げをしてください。またシンナーやベンジンはご使用にならないでください。

保管上のご注意

1. 極端に温度の高い場所、低い場所では保管しないでください。
2. 屋外に放置することは絶対に避けてください。
3. 万一の事故防止のため、長時間ご使用にならないときには、電源スイッチを「切」にし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いておいてください。(抜くとき、電源コードは絶対に引っ張らないでください。断線する原因になります。)
4. カセットテープは、必ず取りはずしてください。

故障かな!?と思われましたら

下記の項目を点検していただき、それでもなお異常のあるときは購入店にご相談ください。



- 電源コードが接続されていますか？
- タイマースイッチが「切」になっていますか？
- 電源スイッチが入っていますか？
- カセットテープが入っていますか？
- 露付表示 “**d**” が点灯していませんか？(☞18ページ)
カセットテープを取出して、本機の電源を入れたままランプが消えるまでお待ちください。
- 前面/後面切換スイッチを「前面」にしていますか？
- モードロックスイッチが「切」になっていますか？
- カセットテープにツメがついていますか？
- 一般テレビのチャンネルが本機の後面のRFチャンネルと同じになっていますか？(☞9ページ)
- トラッキングコントロールで調整してください。(☞9ページ)
- オートリピートスイッチを「テープ終端」または「映像終端」にしていますか？
- 自動再生スイッチが「切」になっていますか？
- 自動再生スイッチが「切」になっていますか？
- カウンタに「M」の表示が出ていませんか？
メモリーボタンを押して「M」の表示を消してください。
- 前面/後面スイッチを「前面」にしていますか？
- シリーズ再生/シリアル切換スイッチが「シリーズ再生」側になっていますか？
- 自動再生スイッチが「切」になっていますか？

アフターサービスについて

1.保証書—内容のご確認と保存のお願い

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

2.保証期間—1ヵ年

取扱説明書及び本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき販売店で「無償修理」させていただきます。

保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
- (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合、その他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障及び損傷
- (ホ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
- (ヘ) 別に指定する摩耗性の部品、あるいは付属品の故障及び損傷

3.補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

4.修理を依頼される前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、「故障かな!?と思われましたら」の項を点検していただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、販売店にお申しつけください。

5.ご転居・定期保守サービス等ご不明な点はお買い上げの販売店にご相談ください。

※摩耗性部品とは下記部品類です。

- | | |
|---------|---------|
| ・ビデオヘッド | ・各種ベルト |
| ・ピンチローラ | ・ゴムプリー類 |
| ・各種ブレイキ | ・ローラ類 |
| ・モータ類 | ・ヘッド類 |

定期保守サービスのおすすめ

ビデオは

- ・複雑なメカニズムで構成されており、ベルト、ローラ、ヘッドなどが数多く使用されています。
- ・これら部品は使用時間が経過するにつれて摩耗劣化し、故障の原因となります。
- ・また、ほこり、ごみなども安定した機能を妨げ、トラブル発生の原因となります。

このため、単に従来の故障発生時に行なうアフターサービスにとどまらず、総合的なサービス、即ちビデオシステムの機能を正常に維持させ、消耗部品などによる突発的な故障を未然に防ぐために、保守サービス(メンテナンス)を定期的に行なうことが非常に大切であるといえます。

定期保守サービス(有料扱い)については、お買い上げの販売店にご相談ください。

Technical Information

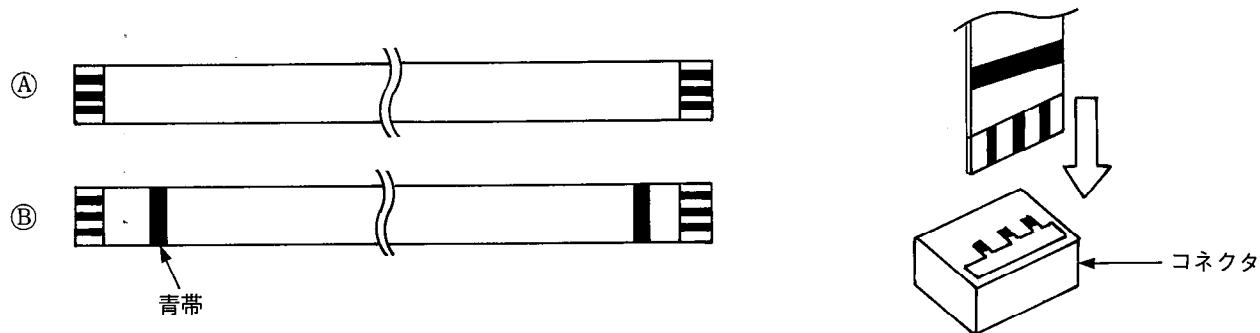
◇RFコンバータについて

本機には、1ch/2ch用のRFコンバータ(ENC84909)が内蔵されていますが、お客様の都合により、1ch/2chが使用できない場合、部品として5ch、7chのRFコンバータを供給しておりますので宜しく対応をお願い致します。

チャンネル	品番	部品コード	希望小売価格
5ch用	ENC84998	003 462 3109 8	4,000円
7ch用	ENC84999	003 462 3110 5	4,000円

◇スミカード方向性について

本機には、スミカードを4本使用していますが、このスミカードには方向性があり、誤って挿入をしますと、誤動作します。サービス時には方向性に注意して挿着して下さい。

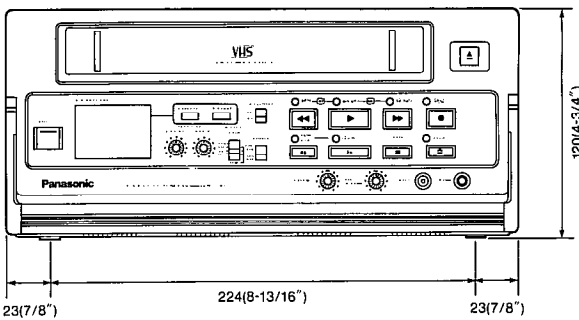
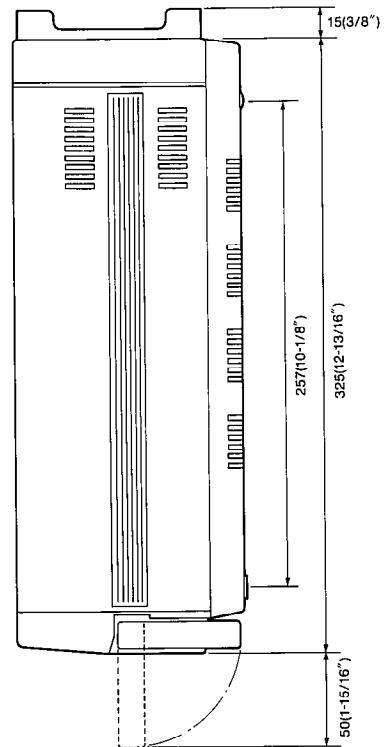
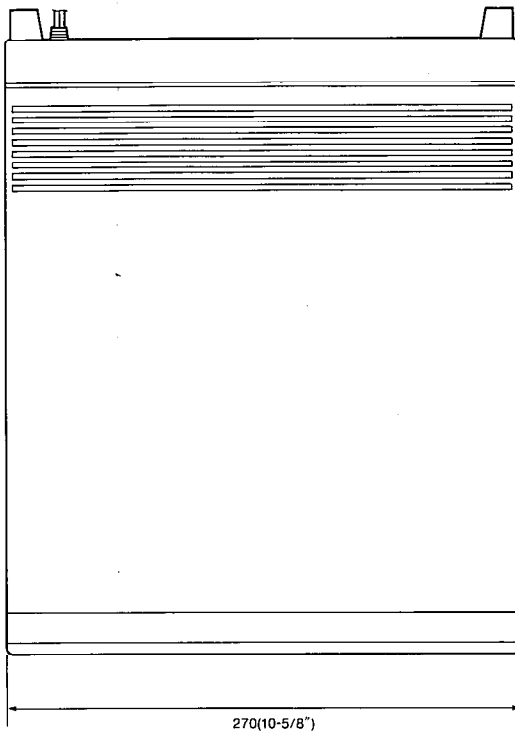
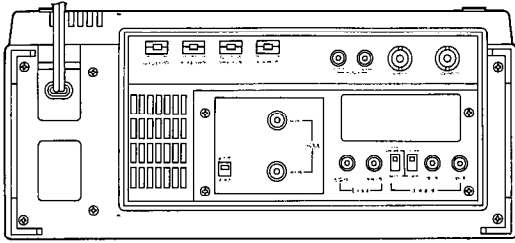


◇DEWタイマについて

VTRは、結露になると安全回路が働き、電源ON・OFF、EJECT以外は作動なくなり、ディスプレイに「d」表示がでます。

本機は一度この状態になると、DEWタイマが働き、約2時間程この状態が続き、露が乾いても解除しません。強制解除させたいときには、露が乾いたのを確認してから、ACコンセントを引き抜いて下さい。

寸法図



unit : mm(inch)

MEMO